

不要な重複ファイルを検索、まとめて削除

Duplicate Files Fixer 4

デュプリケート ファイルズ フィクサー

利用ガイド



目次

第1章	はじめに	3
1-1	動作環境.....	3
1-2	注意事項.....	3
第2章	インストールとアクティベーション	5
2-1	インストール	5
2-2	アクティベーション	9
第3章	製品の起動と操作画面	11
第4章	操作方法	12
4-1	重複ファイルの検索と削除.....	12
4-2	元に戻す.....	18
4-3	スキャン対象/除外.....	20
第5章	スキャンモード	23
5-1	類似画像をスキャン.....	24
5-2	クラウドストレージのスキャン.....	28
5-3	モバイル スマートスキャン.....	32
5-4	空きフォルダのスキャン	34
5-5	EML スキャンモード.....	37
第6章	メニュー、設定.....	38
6-1	メニューの表示.....	38
6-2	設定.....	42
第7章	その他	46
7-1	オートマーク、セクションアシスタント	46
7-2	アンインストール.....	50

第1章 はじめに

『Duplicate Files Fixer 4』は、重複して保存されているファイルや、コピーされた同一のファイルを検索し、ピックアップするツールです。手間をかけることなく不要なファイルを削除でき、貴重なディスクスペースを節約することができます。

1-1 動作環境

<必要なシステム>

対応 OS:	Windows 11/10/8.1 ※OS は最新にアップデートしてお使いください。
対応機種:	上記 OS が正常に動作するパソコン
メモリ:	4GB 以上を推奨
ディスク容量:	300MB 以上の空き領域 ※検索時に一時ファイルが作成され、取り扱うファイル数により必要な空き容量が変化します。
ディスプレイ	1024×768 ピクセル以上の解像度
その他	ライセンス認証時にインターネット接続が必要。

1-2 注意事項

- 本製品の操作画面は、ディスプレイに合わせた最大サイズか、1024×768 ピクセルの 2 種類のみとなります。
- 本製品は、3 台のパソコンにインストールして使用することができます。
- 検索対象のファイル数によっては、スキャンに時間がかかります。時間がかかる場合には、ある程度対象を絞ってスキャンされることをお勧めいたします。

- ファイルを削除する際に、オートマーク機能を使用すると、削除されるファイルが自動選択されます。確認の上、手動で選択されることをお勧めいたします。
- 削除したファイルは、直接削除されずに、ごみ箱に移動されます。ただし、ネットワークドライブ、USB メモリや SD カードなどのリムーバブルメディアのファイルは、直接削除されますので、十分にご注意ください。
- クラウドストレージ(Google Drive、Dropbox)、モバイルのスクリーンについては、各ドライブ内にある重複ファイルのみを検索することができます。
- 初期設定で以下ファイルが検索されます。拡張子は任意に追加することが可能です。『4-2』をご参照ください。

ドキュメント:

odt/ott/oth/odm/sxw/stw/sxg/doc/dot/docx/docm/dotx/dotm/wpd/wps/rtf/csv/sdw/sgl/vor/uot/uof/jtd/jtt/hwp/602/pdb/psw/xls/xlw/xlt/xlsx/xlsm/xltx/xltm/xlsb/wk1/wks/123/dif/sdc/dbf/slk/uos/pxl/wb2/ppt/pps/pot/pptx/pptm/potx/potm/sdd/sdp/uop/cgm/pdf/txt/mdb/accdb

ピクチャ:

raw/wmp/tif/tiff/pict/cdr/bmp/gif/jpeg/jpg/ofx/pub/ps/psd/qxd/png/eps/dwg/dxf/ico/indd/iges/cr2/3ds/pcx/sgv/wmf/met/pgm/ras/svm/xbm/emf/pbm/plt/sda/tga/xpm/pcd/pct/ppm/sgf

ミュージック:

wma/ses/ram/m4a/m4b/m4p/mid/midi/mp2/mp3/mso/ogg/cda/all/amr/ape/asf/aif/aiff/au/audiocd/dm/dss/dvf/wav/flac/aac

ビデオ:

3g/3gp/3gpp/avi/divx/dv/f4v/flv/m2ts/m4v/mkv/mod/mov/mp4/mpe/mpeg/mpeg4/mpg/mts/nsv/ogm/ogv/qt/tod/ts/vob/wmv/rm/rmvb/ifo/asx/swf /avs/bsf

第2章 インストールとアクティベーション

2-1 インストール

ウイルス対策ソフト ESET Internet Security がインストールされている環境では、設定内容により『Duplicate Files Fixer 4』が誤検出される場合があります。詳細は下記をご参照ください。

<https://www.lifeboat.jp/support/db/017220425002.html>

- (1) 製品 CD を PC にセットすると自動再生が起動し、以下の画面が表示されます。表示されない場合は、製品 CD 内にある「スタート.exe」を実行してください。



- ※ ダウンロード版では、ダウンロードし解凍したフォルダ内の EXE ファイルを実行してください。
- ※ インストールプログラムは、下記からダウンロードすることもできます。
https://www.lifeboat.jp/support/faq/tbl_dff4.php

- (2) 以下の画面が表示されます。「インストール」をクリックします。



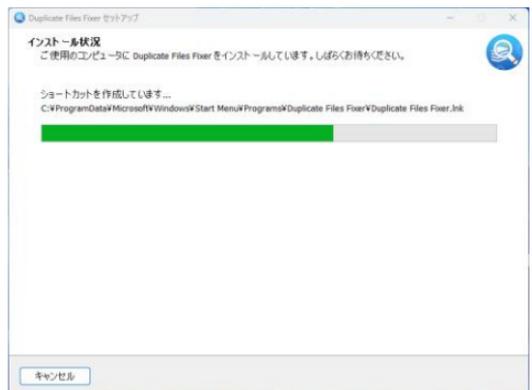
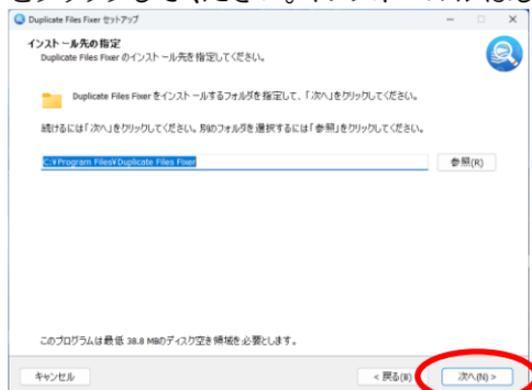
- (3) ユーザーアカウント制御画面が表示されましたら「はい」をクリックし、「次へ」をクリックしておすすみください。



(4) 使用許諾契約書に「同意する」と、「次へ」進めます。

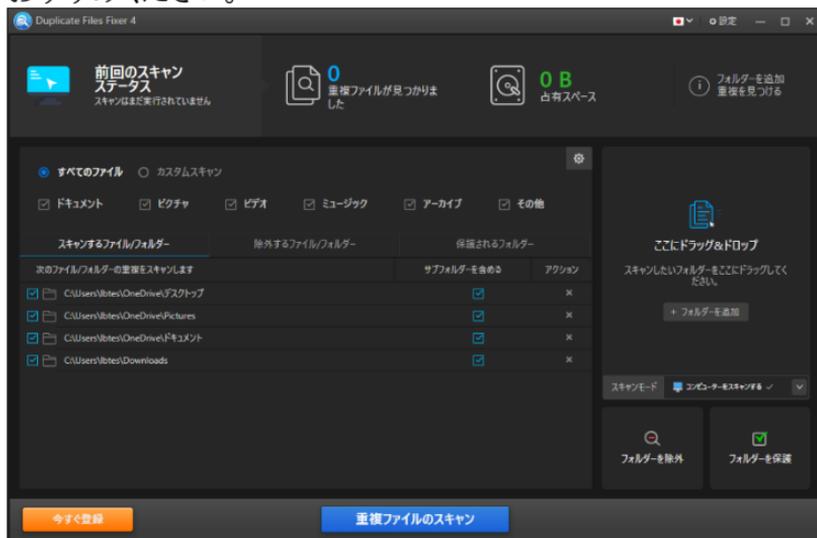


(5) インストール先は、特にご理由がない限りは変更せずそのまま「次へ」をクリックしてください。インストールがはじまります。



第3章 製品の起動と操作画面

- (6) インストールが完了すると、体験版として製品が起動します。初回はライセンス認証(アクティベーション)が必要です。引き続き『2-2』へおすすみください。

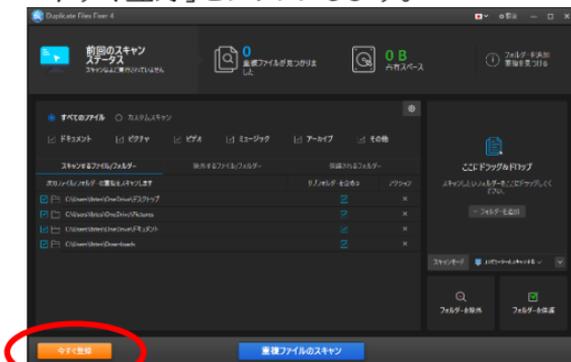


- ※ Web ブラウザが起動した場合は閉じてください。

2-2 アクティベーション

インストールが完了すると、体験版として製品が起動します。初回はライセンス認証(アクティベーション)が必要です。

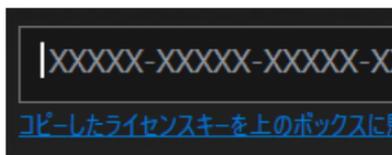
(1) 「今すぐ登録」をクリックします。



(2) ライセンスキーを入力し「今すぐ登録」をクリックしてください。



※ パッケージ版では、入力欄の先頭をクリックすると、入力できます。半角文字で入力してください。(「XXXXXX-…」の表示はスペースキーを押すと消えます。)



第3章 製品の起動と操作画面

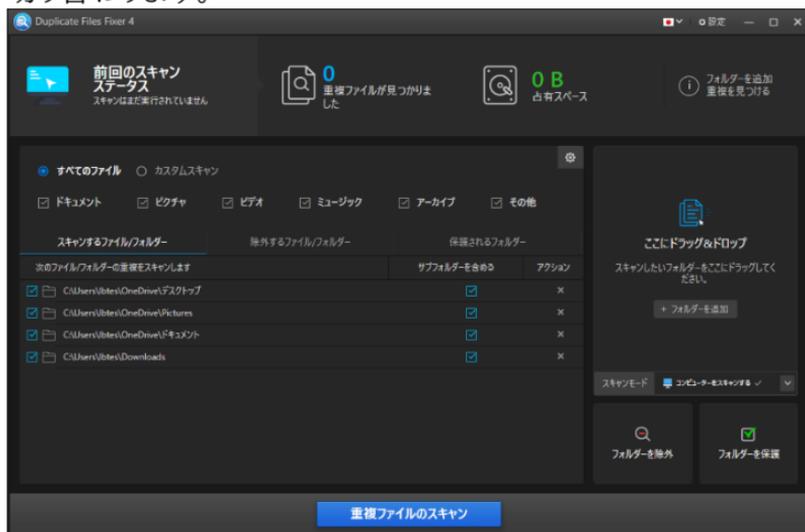
- ※ ダウンロード版では、メールや Web 購入ページからライセンスキーをコピーしてください。コピーしたキーを貼り付けるには、入力欄の下の青い文字をクリックしてください。

注文番号: LBES_6789
ダウンロードリンク: https://transactions.****
商品名: Duplicate Files Fixer 4 ダウンロード版
シリアルナンバー: ABCDE000001
ライセンスキー: 54321-98765-13579-24680



貼り付けるにはここをクリック

- (3) アクティベーションが完了すると左下のボタンがなくなり、製品版に切り替わります。



- ※ アクティベーションをしないと、体験版のままとなります。(機能制限があります。)

- ※ ライセンス認証に万一問題が生じた場合は、サポートセンターまでご連絡ください。

<https://www.lifeboat.jp/support/>

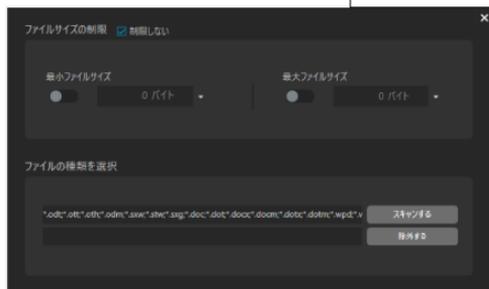
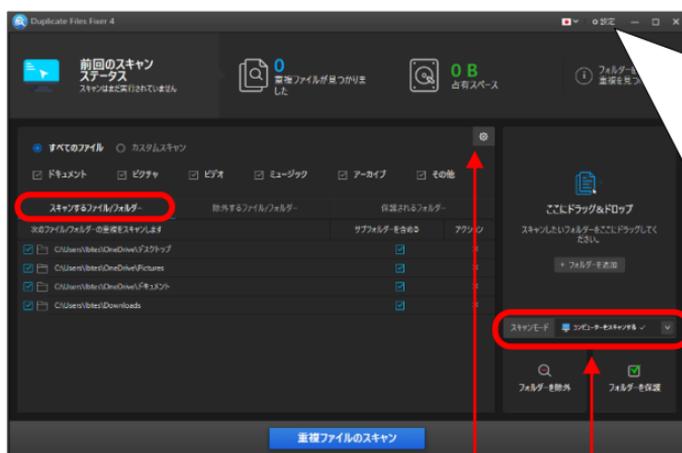
第3章 製品の起動と操作画面

起動するには、デスクトップにある「Duplicate Files Fixer」のショートカットをダブルクリックしてください。



製品を起動すると、「スキャンするファイル/フォルダー」タブが開きます。操作方法は第4章、設定については第6章をご参照ください。

詳細な設定は、メニューの「設定」から行えます。(『6-2』)

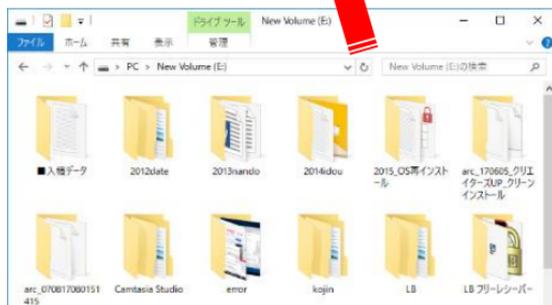
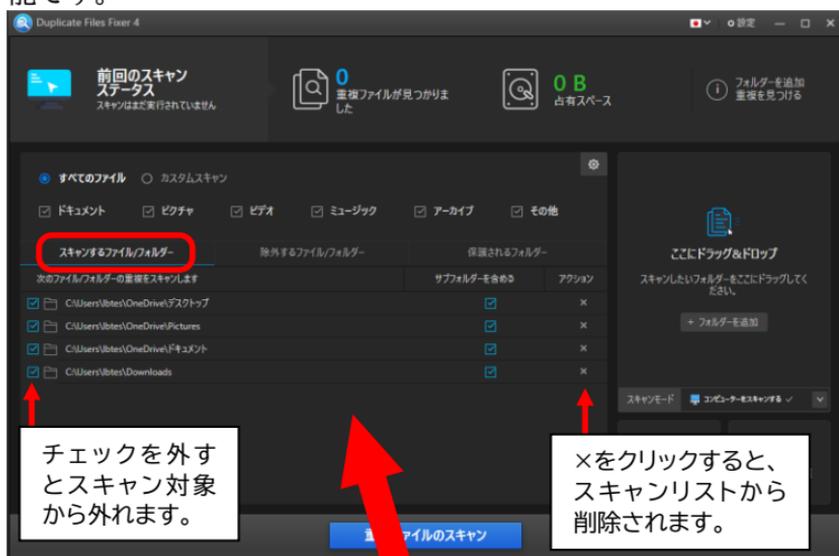


スキャンモードについては第5章をご参照ください。

第4章 操作方法

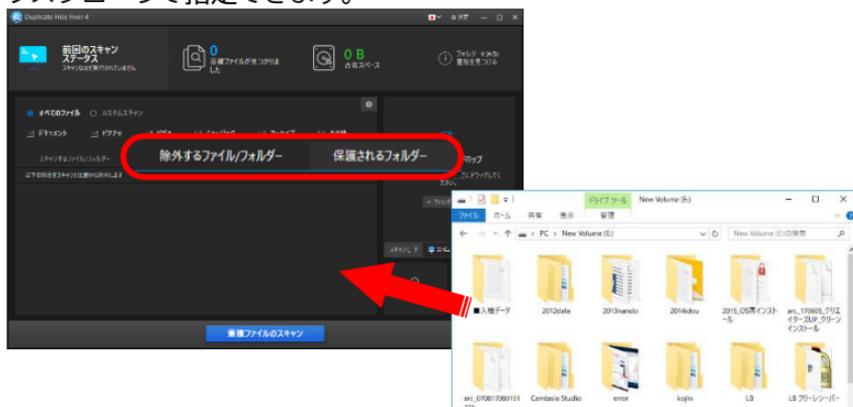
4-1 重複ファイルの検索と削除

- (1) 「スキャンするファイル/フォルダー」タブで、検索したいフォルダーをドラッグ&ドロップで追加してください。複数のフォルダーを選択可能です。

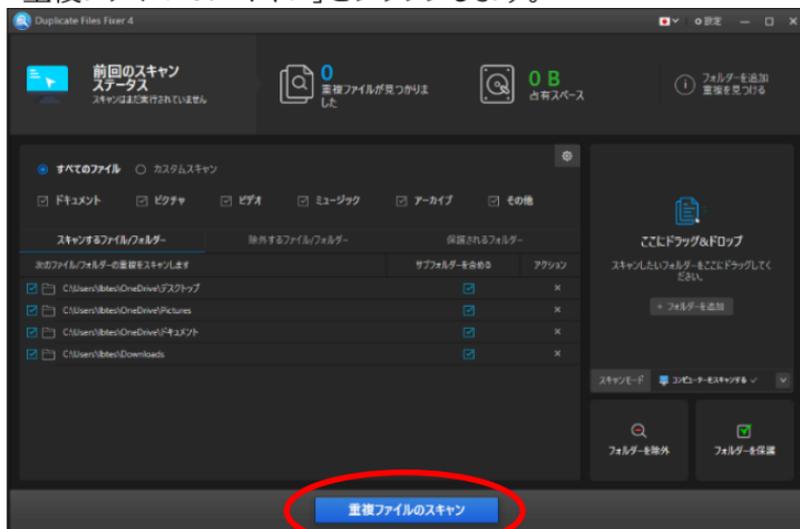


- ※ スキャン対象をファイルサイズで指定したり、除外したいファイルの種類がある場合は、『4-3』をご参照ください。

- ※ 初期設定では 1KB 以下のファイルはスキャンから除外されています。設定を変更する場合は『6-2』(2)をご参照ください。
- ※ スキャン対象から除外したいフォルダーや、削除対象から保護したいフォルダーがある場合は、それぞれのタブからドラッグ&ドロップで、またはエクスプローラで指定できます。

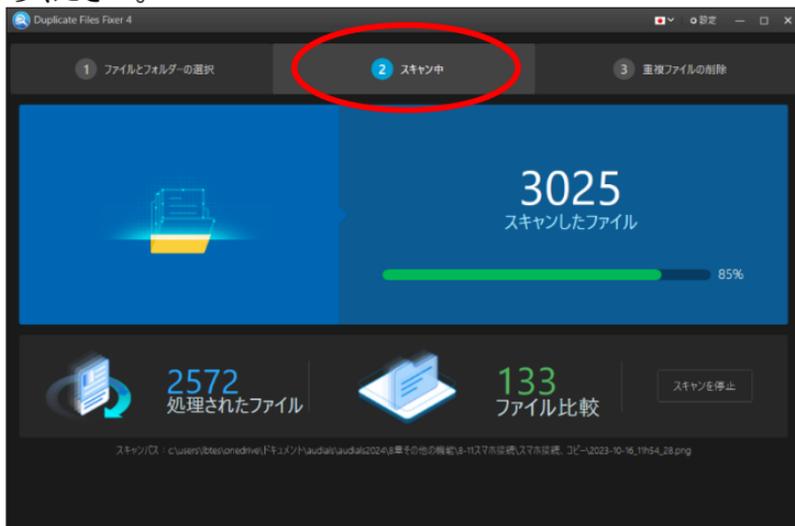


(2) 「重複ファイルのスキャン」をクリックします。

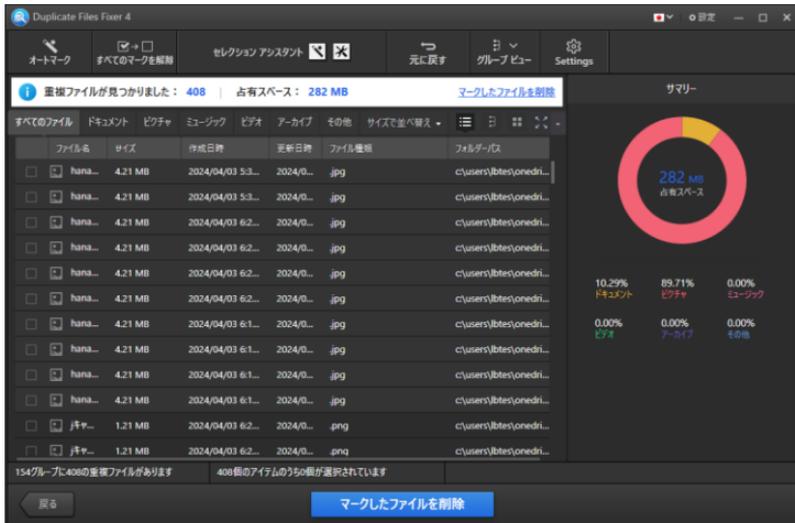


第4章 操作方法

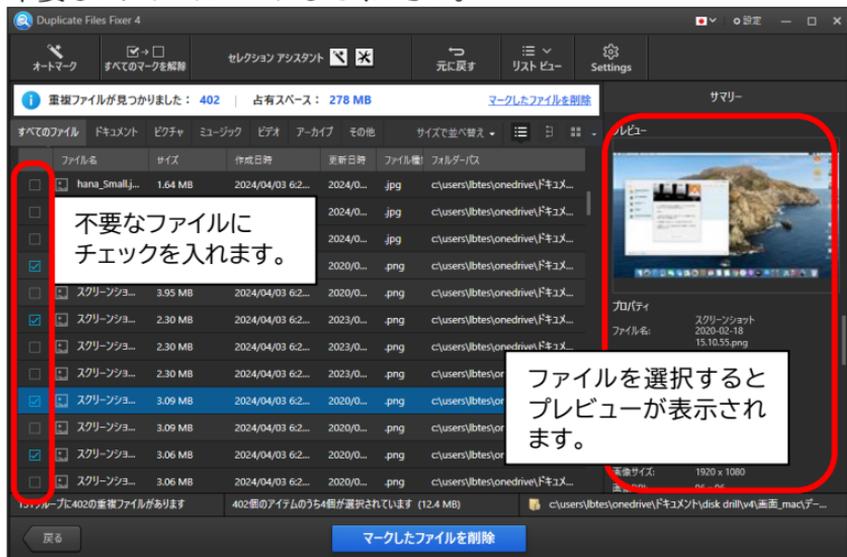
- (3) 処理中は「②スキャン中」タブに切り替わります。完了するまでお待ちください。



- (4) スキャンが終了すると結果が表示されます。



(5) 不要なファイルにマークしてください。

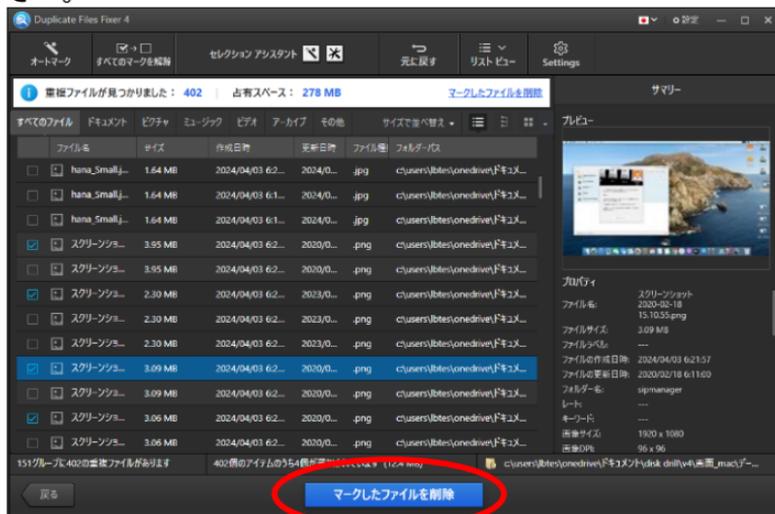


※ オートマーク機能については『7-1』をご参照ください。

※ 結果をサムネイル表示やファイルの種類ごとに切り替えることができます。



- (6) 削除を実行するには、「マークしたファイルを削除」をクリックしてください。

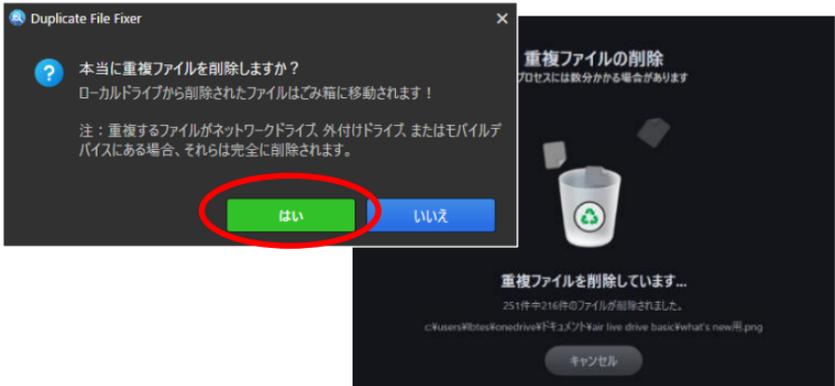


■ 削除をより安全に行うためのご注意

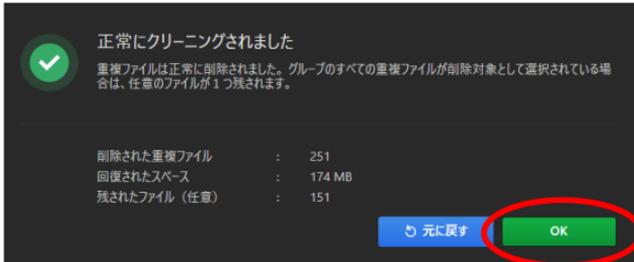
PC内のファイルを削除した場合は、いったん「ごみ箱」に移動します。ネットワークドライブ、USBメモリやSDカード、モバイル内のファイルを削除した場合は、ごみ箱に移動せず直接削除されます。操作を誤った場合、元に戻せませんのでご注意ください。

削除をより安全に行うには、『6-2』(1)の設定で、ごみ箱の代わりに移動させるフォルダを指定してください。

- (7) 確認のメッセージが表示されます。削除を続行してよろしければ、「はい」をクリックしてください。削除が開始されます。



- (8) 削除が完了すると結果が表示されます。「OK」をクリックし終了です。



- ※ 削除した直後であれば「元に戻す」ボタンで処理をキャンセルすることができます。詳細は『4-2』をご参照ください。

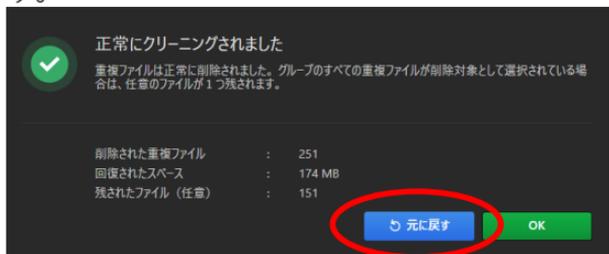
4-2 元に戻す

削除を実行した直後であれば元に戻すことができます。

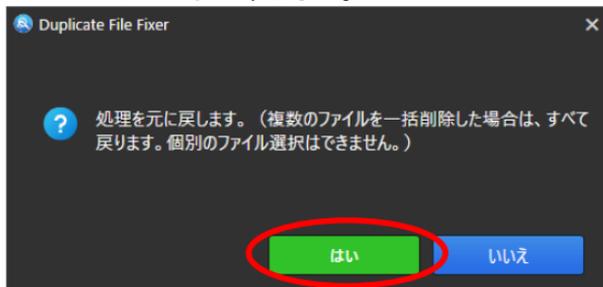
ネットワークドライブ、USB メモリ、モバイルから削除した場合も、直後であれば復元できます。

直前の削除を取り消す処理になり、ファイルを選択して復元することはできません。

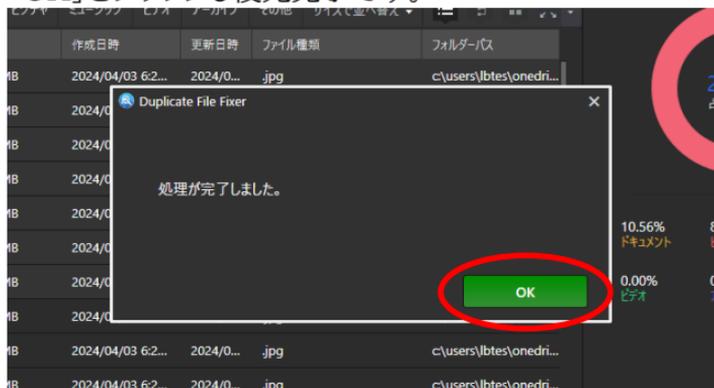
- (1) 削除が完了したときに表示される画面で、「元に戻す」をクリックします。



- (2) はいをクリックしてください。



(3) 「OK」をクリックし復元完了です。



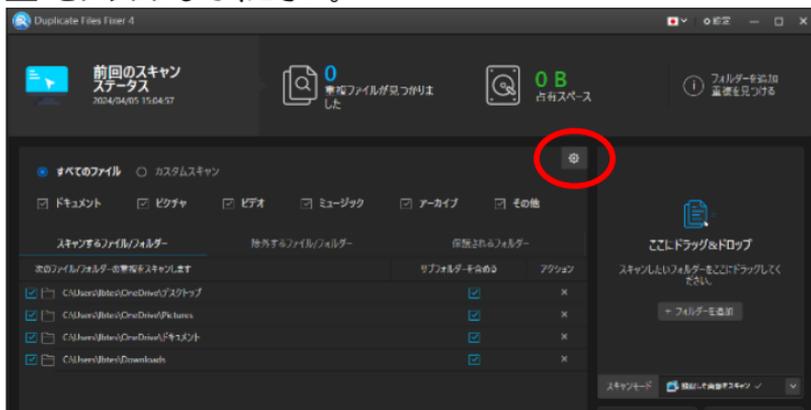
- ※ PC から削除したファイルは、直後でない場合はごみ箱から戻せます。ネットワークドライブ、USB メモリ、モバイルから削除した場合は、ごみ箱には移動されないため、戻せません。
- ※ 復元が完了しても、一度ごみ箱や移動先フォルダーに移動されたファイルはそのままごみ箱、移動先フォルダーにも残ります。

4-3 スキャン対象／除外

ファイルサイズやファイルの種類を指定してスキャンを実行することができます。設定手順は下記の通りです。

※ 『6-2』(2)もご参照ください。以下の手順で行う設定は『6-2』(2)に反映されます。

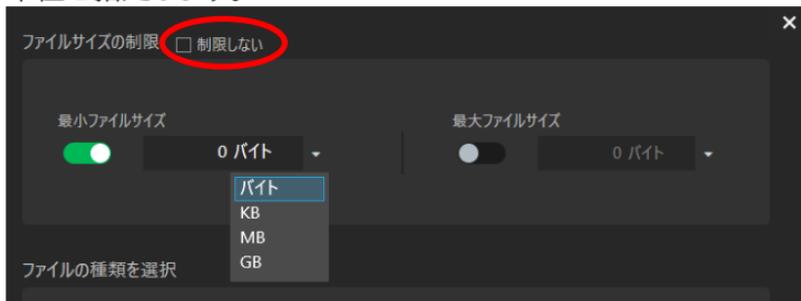
- (1)  をクリックしてください。



- (2) ご希望の設定を行ってください。

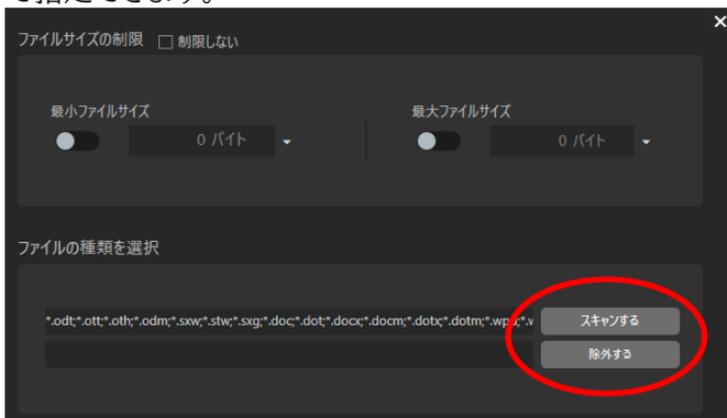
【スキャン対象のファイルサイズを指定する】

「制限しない」のチェックを外し、最小/最大ファイルサイズを入力し、単位を指定します。



【スキャン対象の追加/除外】

スキャン対象を追加したい場合は「スキャンする」、スキャンから除外したい場合は「除外する」をクリックしてください。ファイルの拡張子で指定できます。



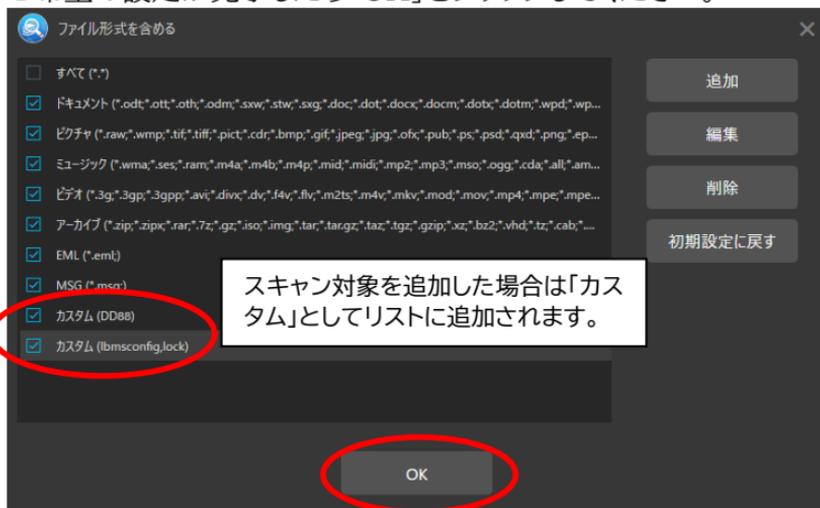
<例>スキャン対象を追加

上記画面で「スキャンする」をクリックします。「追加」をクリックし、枠内にご希望のファイル拡張子を入力してください。「追加」をクリックし保存します。

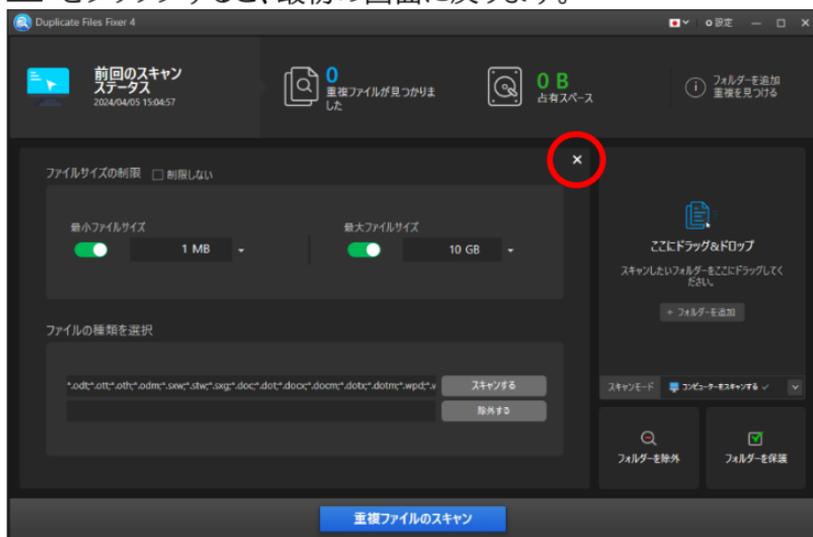


第4章 操作方法

(3) ご希望の設定が完了したら「OK」をクリックしてください。



(4)  をクリックすると、最初の画面に戻ります。



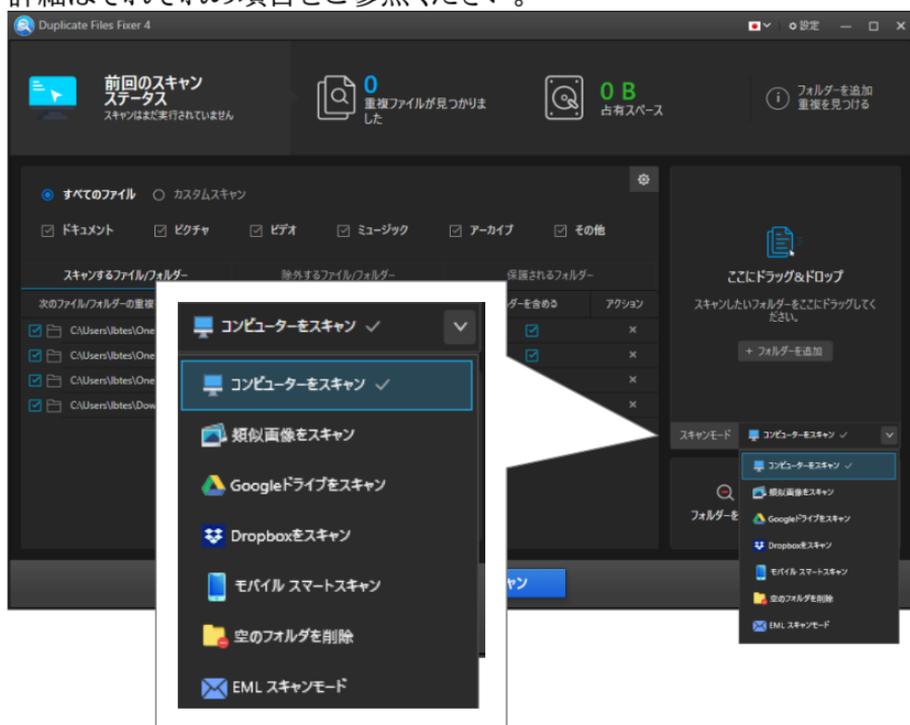
(5) このあとスキャンを実行すると、設定した内容が反映され動作します。

第5章 スキャンモード

パソコン内の重複ファイルのスキャンだけでなく、以下のスキャンを行うことができます。

- ・ 類似画像のスキャン 『5-1』
- ・ クラウドストレージ(Google ドライブ、DropBox)のスキャン『5-2』
- ・ スマートフォンのスキャン 『5-3』
- ・ 空きフォルダのスキャン、削除 『5-4』
- ・ EML スキャンモード 『5-5』

詳細はそれぞれの項目をご参照ください。

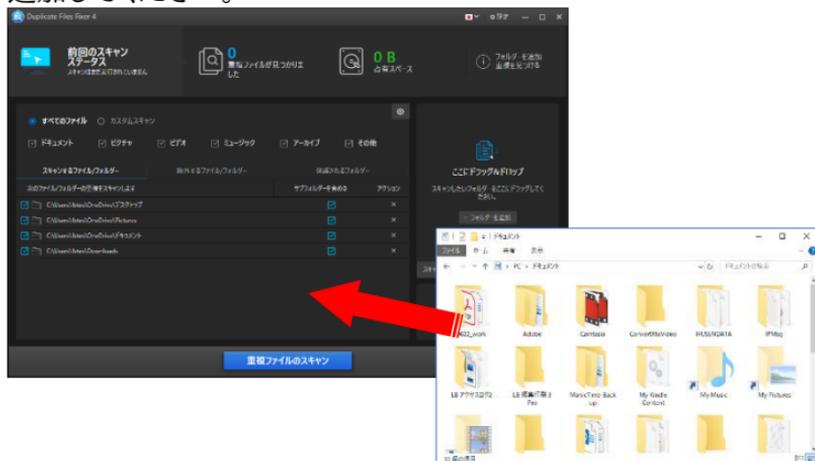


※ 「コンピューターをスキャン」については第3章、第4章をご参照ください。

5-1 類似画像をスキャン

重複した画像だけでなく、連続撮影した画像など、類似した画像をスキャンすることができます。

- (1) 第4章と同様の要領で、スキャンしたいドライブやフォルダをリストに追加してください。



- (2) スキャンモードから「類似画像をスキャン」を選択し、「重複ファイルのスキャン」をクリックします。

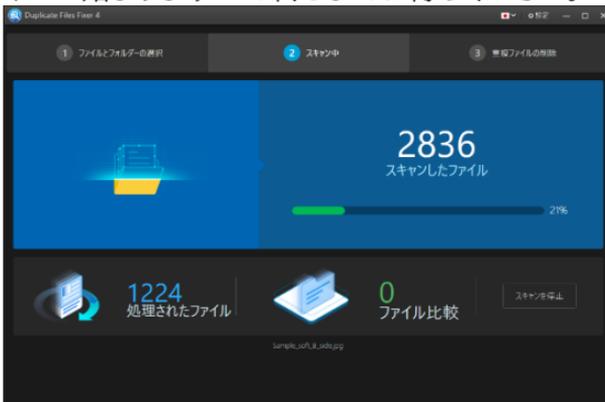


(3) 類似のレベルを指定する画面が表示されます。

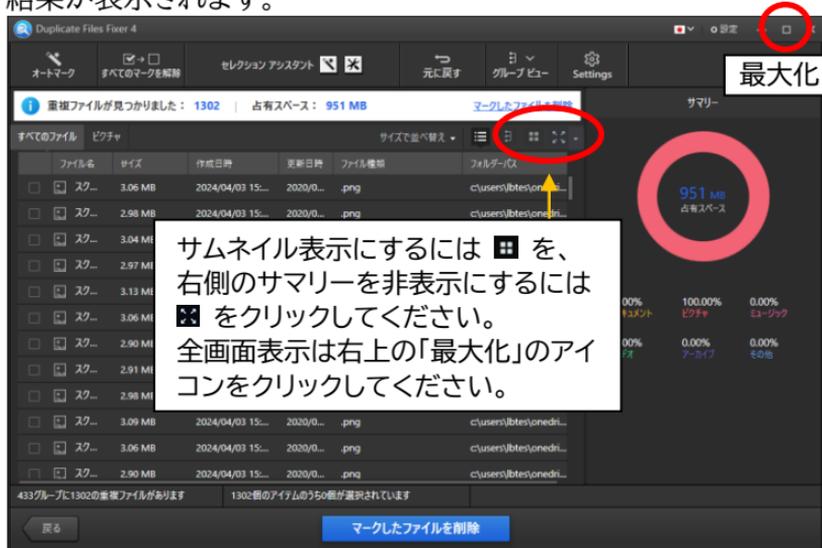
※ 類似の画像をより多く見つけたい場合(マッチングレベルを低くする)には各スライダーを下記のように設定してください。



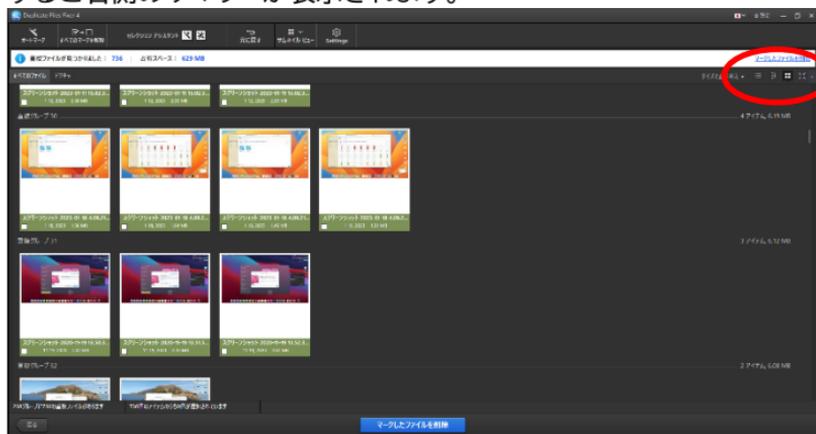
(4) マッチングレベルを設定したら「スキャン開始」をクリックします。スキャンが始まりますので終るまでお待ちください。



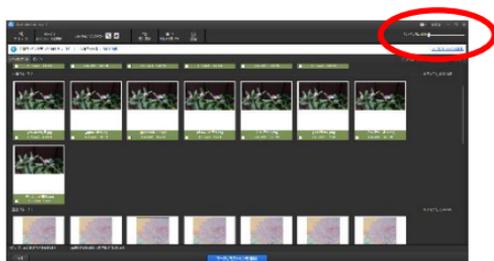
(5) 結果が表示されます。



※ **🖼️**、**☒** をクリックし、全画面表示にした場合の画面です。再度 **☒** をクリックすると右側のサマリーが表示されます。

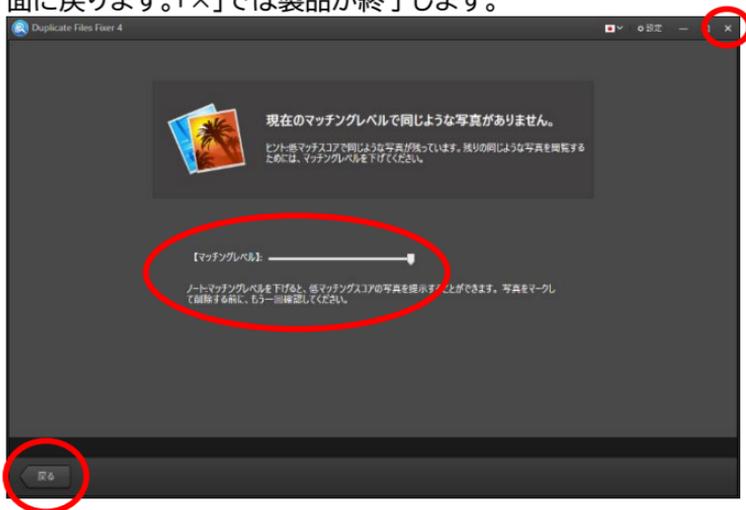


- ※ スライダーを動かして、マッチングレベルを変えて結果を表示することができます。



- (6) 削除する手順は、4-1(5)～と同様に行ってください。

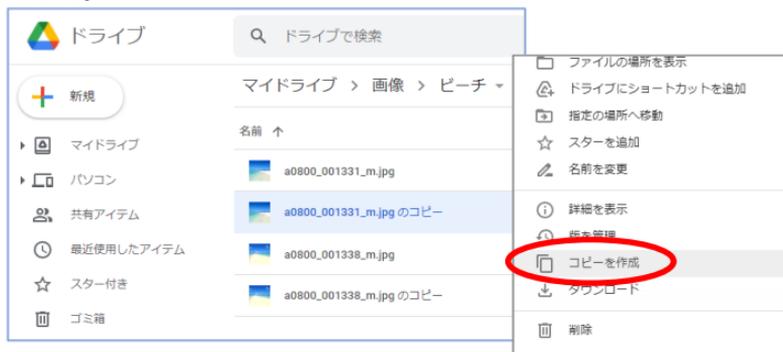
- ※ 削除後、下記の画面になった場合は、マッチングレベルを変更することでさらに類似写真が見つかる場合があります。「戻る」でスキャン開始の画面に戻ります。「×」では製品が終了します。



5-2 クラウドストレージのスキャン

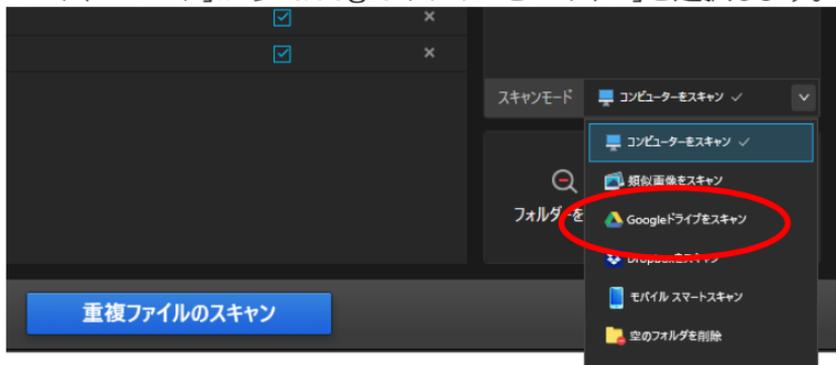
Google ドライブと Dropbox の重複ファイルのスキャンすることができます。Google ドライブを例にご案内いたします。

- ※ クラウドストレージのスキャンでは、各ドライブ内にある重複ファイルのみを検索することができます。(他のドライブとの比較はできません。)
- ※ Google ドライブ上で「コピーを作成」したものは対象外となり、検索できません。

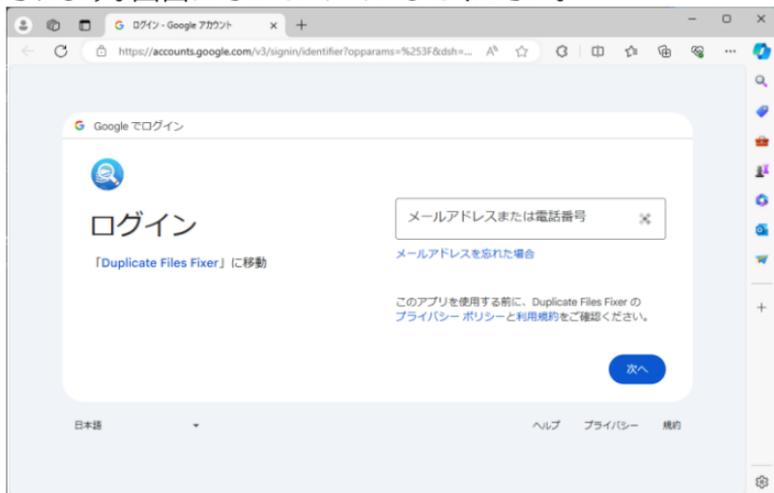


- ※ 同一のクラウドストレージで、複数のアカウントをスキャンしたい場合 (アカウントを切り替えてスキャンしたい場合)
特に DropBox では、Web 上で特定のアカウントでログインされたままになっていると Duplicate Files Fixer の画面で別のアカウントを選択できない場合があります。この場合は Web 上の Dropbox のサイトからログオフし、Duplicate Files Fixer を再起動してお試しください。

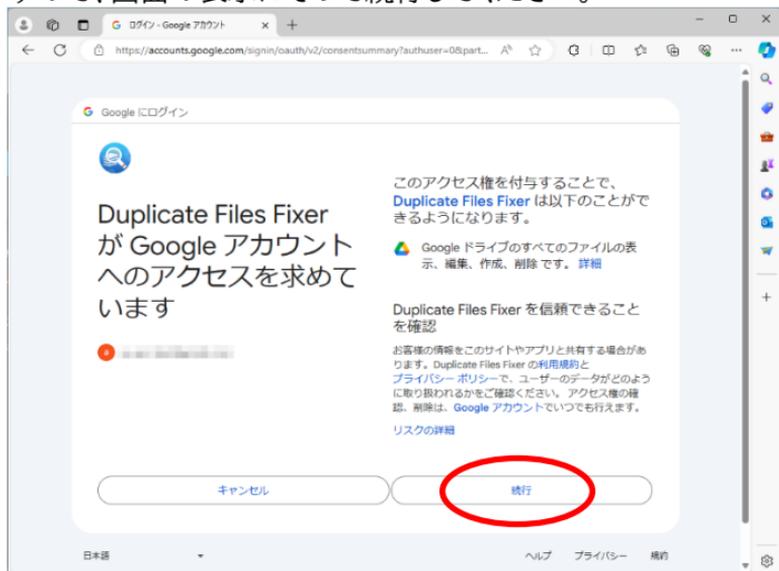
- (1) 「スキャンモード」から「Google ドライブをスキャン」を選択します。



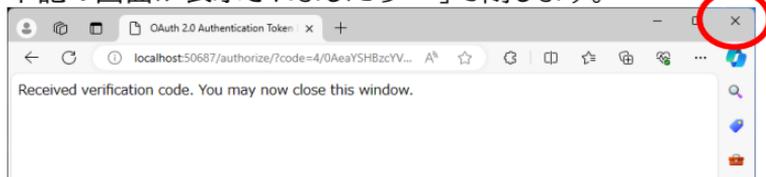
- (2) Web ブラウザが起動し、Google アカウントのログイン画面が表示されます。画面にそってログインしてください。



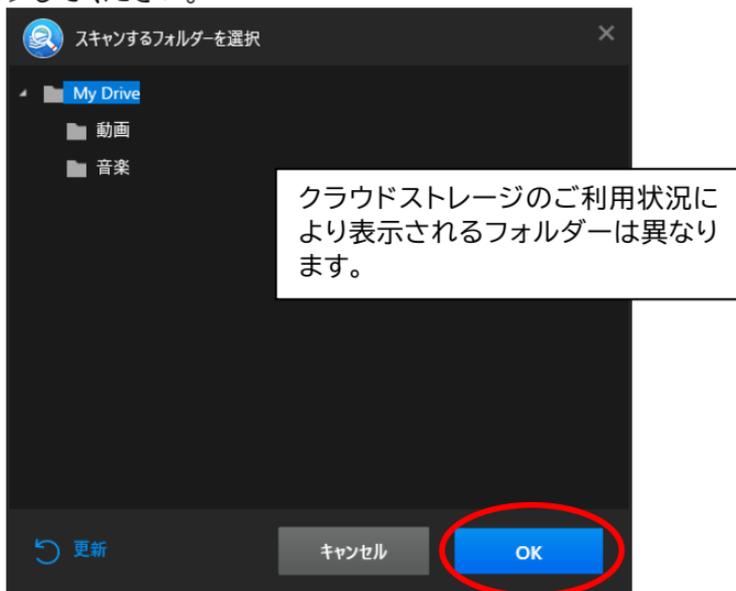
- (3) Duplicate Files Fixer のアクセスを許可する画面が表示されますので、画面の表示にそって続行してください。



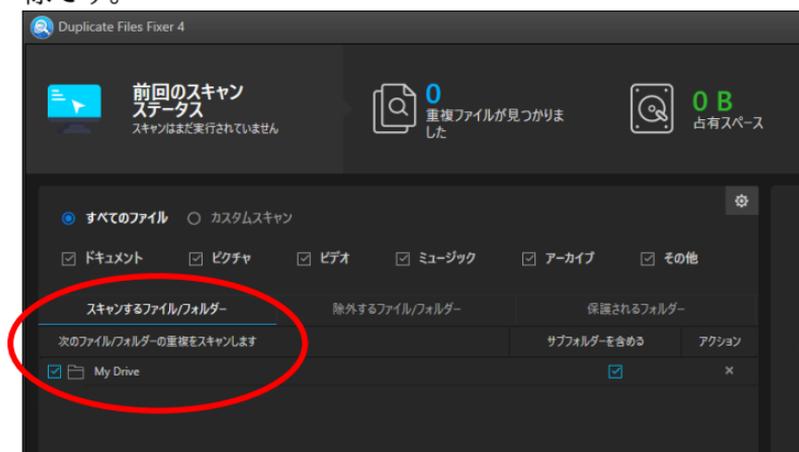
- (4) 下記の画面が表示されましたら「×」で閉じます。



- (5) Duplicate Files Fixer の画面に Google ドライブのフォルダーが表示されます。スキャンしたいフォルダーを選択して「OK」をクリックしてください。



- (6) 「スキャンするファイル/フォルダー」タブに、選択したフォルダーが追加されていることをご確認ください。以降の手順は『4-1』(2)〜と同様です。



5-3 モバイル スマートスキャン

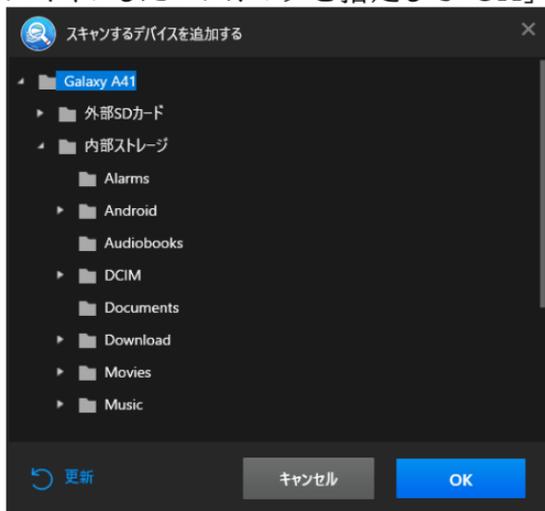
モバイル スマートスキャンは、Android スマートフォンのみに対応します。

※ スマートフォン内にある重複ファイル、またはスマートフォン同士を比較してスキャンを行うことができます。PC とスマートフォンの比較はできません。

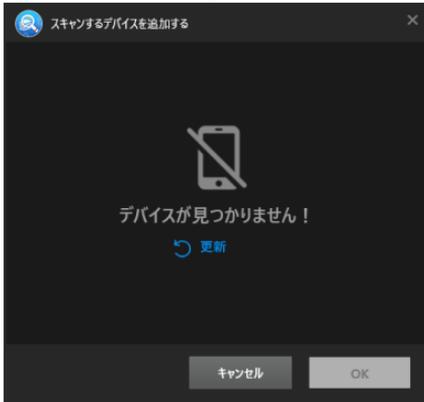
- (1) スマートフォンを PC に接続します。
- (2) 「スキャンモード」から「モバイル スマートスキャン」を選択します。



- (3) スキャンしたいフォルダを指定して「OK」をクリックしてください。



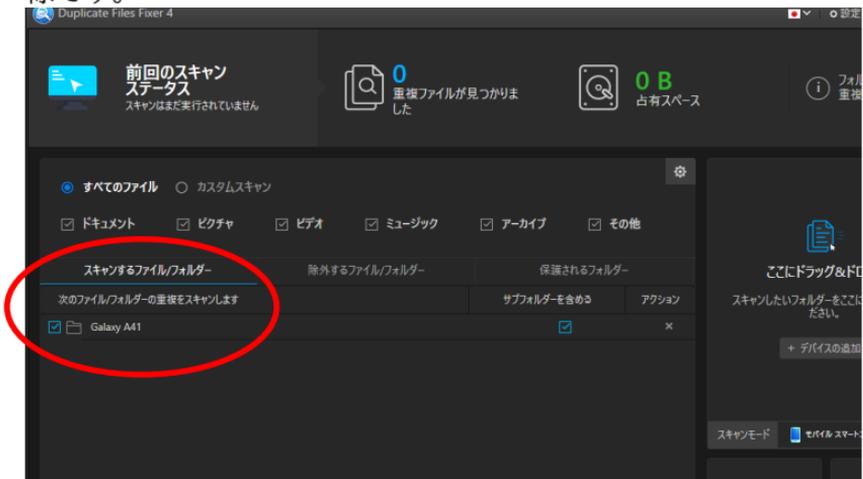
※ このメッセージが表示された場合は、接続を再度ご確認ください。



※ なお、スマートフォンと PC の接続は、スマートフォン側のファイル転送機能を有効にしてください。この設定方法はご利用の機器により変わります。



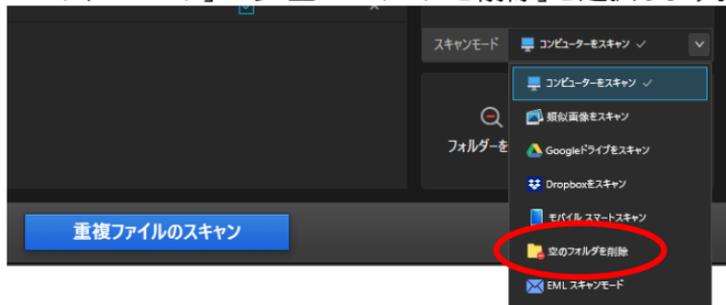
(4) 「スキャンするファイル/フォルダー」タブに、選択したフォルダーが追加されていることをご確認ください。以降の手順は『4-1』(2)～と同様です。



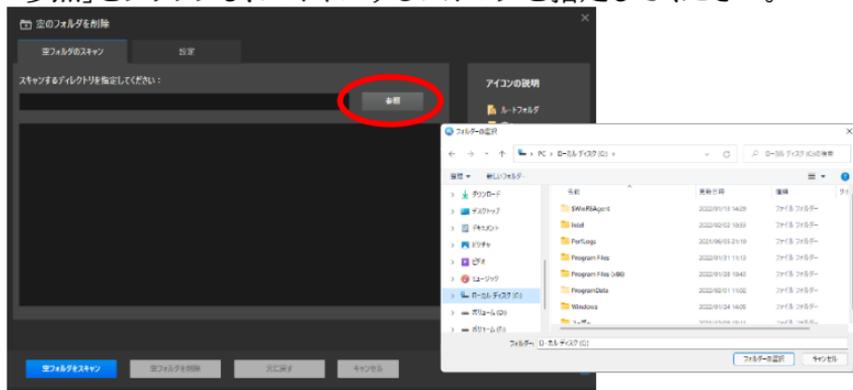
5-4 空きフォルダのスキャン

空のフォルダを見つけて削除することができます。

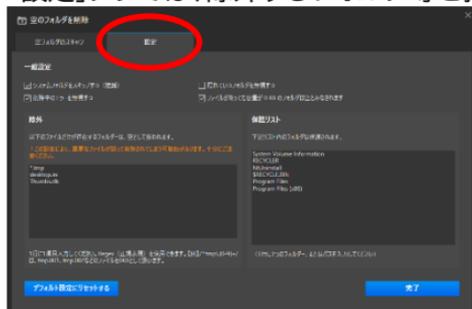
(1) 「スキャンモード」から「空のフォルダを削除」を選択します。



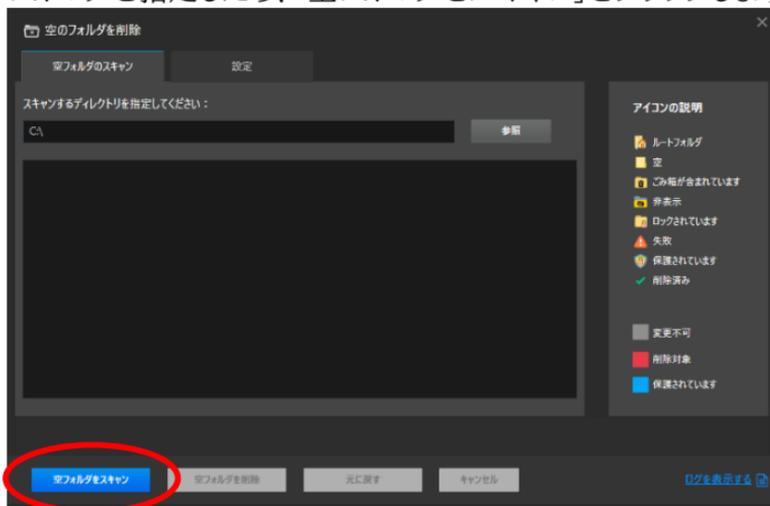
(2) 「参照」をクリックし、スキャンするフォルダを指定してください。



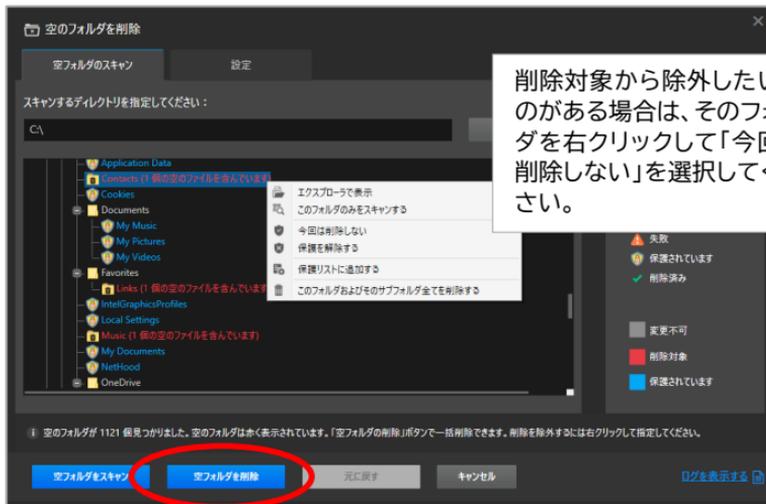
※ 「設定」タブでは、除外するフォルダ等を指定することができます。



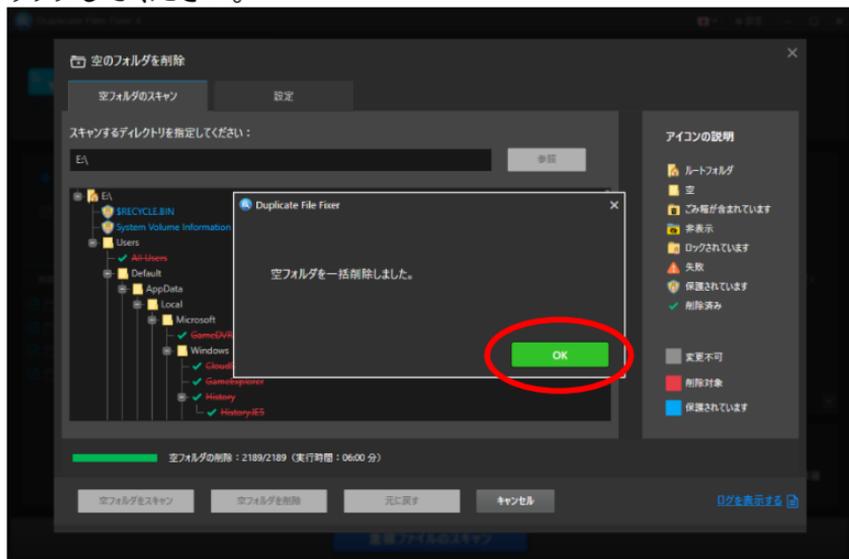
- (3) フォルダを指定したら、「空フォルダをスキャン」をクリックします。



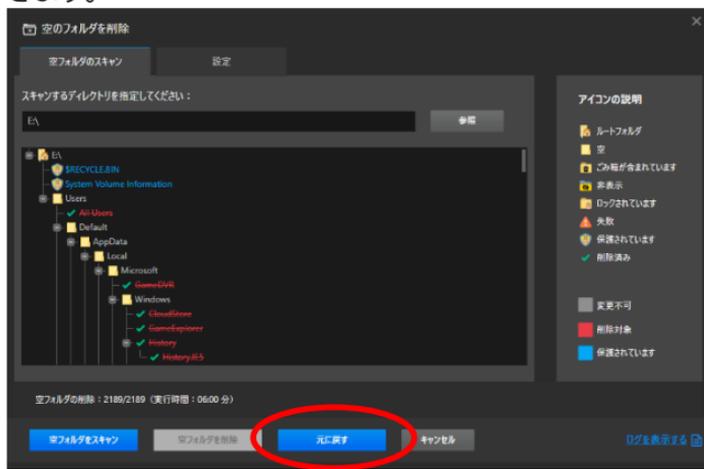
- (4) 空フォルダがスキャンされ、結果が表示されます。赤い文字で表示されているフォルダが空フォルダで、削除対象です。「空フォルダを削除」をクリックすると、確認画面は表示されずすぐに削除が実行されます。ご注意ください。



- (5) 削除が終了すると以下のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックしてください。

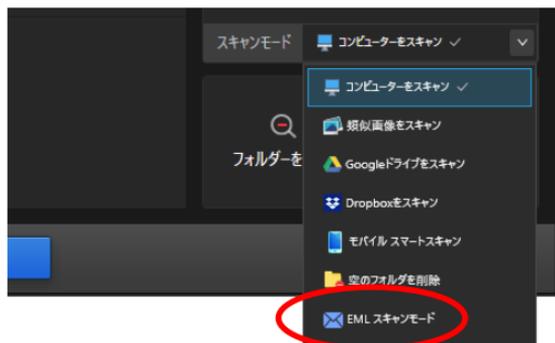


- ※ 削除の直後であれば「元に戻す」ボタンで処理をキャンセルすることができます。



5-5 EML スキャンモード

このモードは、メールファイル EML、MSG のスキャンを行えます。(メールソフトの受信トレイ等のスキャンは行えません。)



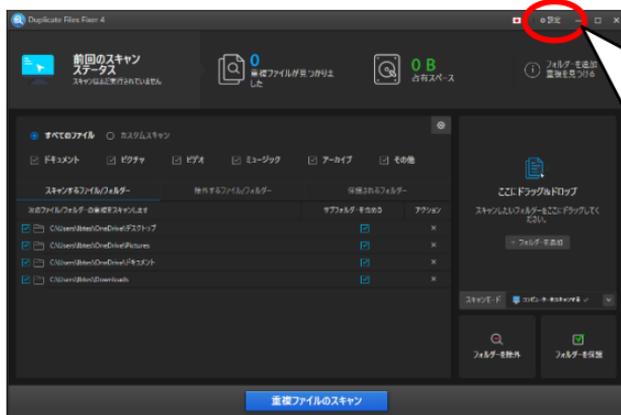
例:



第6章 メニュー、設定

6-1 メニューの表示

画面上部の「設定」をクリックすると、メニューが表示されます。



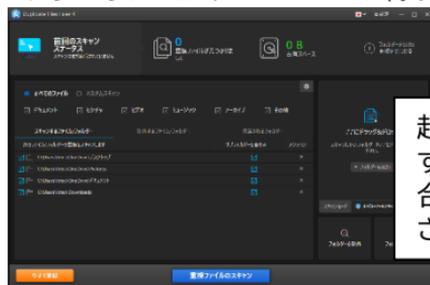
【設定】

設定についての詳細は『6-2』をご参照ください。



【アクティベーションコード】

こちらからアクティベーションを行うことができます。



起動した際に、左下にオレンジ色の「今すぐ登録」のボタンが表示されている場合は、アクティベーションを行ってください。

【アップデートを確認】

プログラムの更新の有無を確認できます。最新版を使用している場合は、下記のメッセージが表示されます。



【FAQ】

ライフボートの FAQ ページが開きます。

【キャッシュのクリア】

重複ファイルのスキャンを行うと、データベース化されたキャッシュファイルが作成されます。

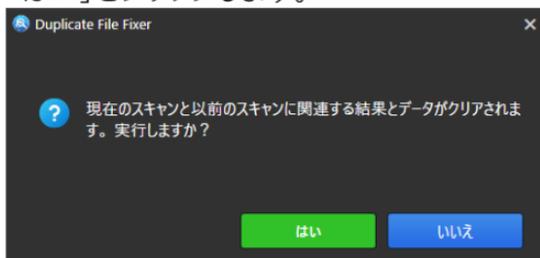
重複ファイルのスキャン、削除が終了した際や、スキャン履歴を削除したい場合は、キャッシュのクリアを行ってください。

キャッシュのクリアを実行しない場合は、データベースが蓄積されていきます。あくまで目安ですが、5000 枚のデジカメ写真で 3~6MB ほどのデータとなります。スキャン条件によってもキャッシュサイズは変化します。

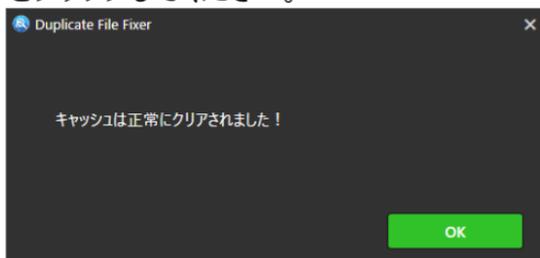
(1) 「キャッシュのクリア」をクリックしてください。



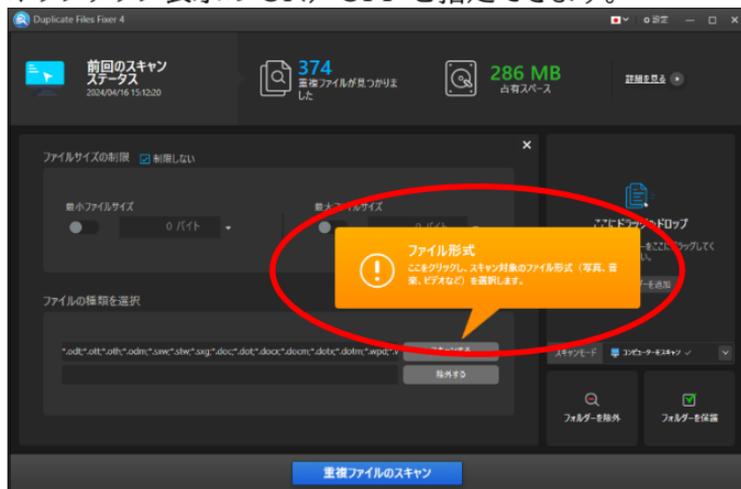
(2) 「はい」をクリックします。



(3) キャッシュがクリアされると以下のメッセージが表示されます。「OK」をクリックしてください。



【ヒントのポップアップを OFF にする／表示する】
ポップアップ表示の ON/OFF を指定できます。



【Web】

ライフポートの製品情報ページが開きます。

【Duplicate Files Fixer について】

Duplicate Files Fixer のバージョンを確認できます。



The screenshot shows the 'About' window of Duplicate Files Fixer 4. The window title is 'Duplicate Files Fixer 4'. The main heading is 'Duplicate Files Fixer について'. Below the heading is a paragraph of Japanese text explaining the software's purpose: 'Windowsのシステムは、普通に使用していても多くの重複ファイルを蓄積します。Duplicate Files Fixerは、重複ファイルを簡単に見つけて削除するために設計されたシンプルなツールです。重複ファイルを削除することで、スペースの節約にもつながります。' To the left of this text is a circular logo featuring a magnifying glass over a hand holding a file. Below the logo and text is a table with two rows: 'バージョン : 1.2.1.756' and 'ステータス: 登録済みバージョン'. At the bottom, there is a warning message in Japanese: '警告: このコンピュータプログラムは、著作権法および国際条約によって保護されています。このプログラムまたはその一部の無断転載または配布は、厳しい民事訴訟につながる可能性があります。刑事罰、および法律の下で可能な限り最大限に起訴されます。' Below the warning are two links: 'エンドユーザーの使用許諾契約' and '個人情報保護方針'. At the very bottom, the copyright notice reads: 'Copyright © 2023 Systweak Software. All rights reserved.'

Duplicate Files Fixer 4

Duplicate Files Fixer について

Windowsのシステムは、普通に使用していても多くの重複ファイルを蓄積します。Duplicate Files Fixerは、重複ファイルを簡単に見つけて削除するために設計されたシンプルなツールです。重複ファイルを削除することで、スペースの節約にもつながります。

バージョン :	1.2.1.756
ステータス:	登録済みバージョン

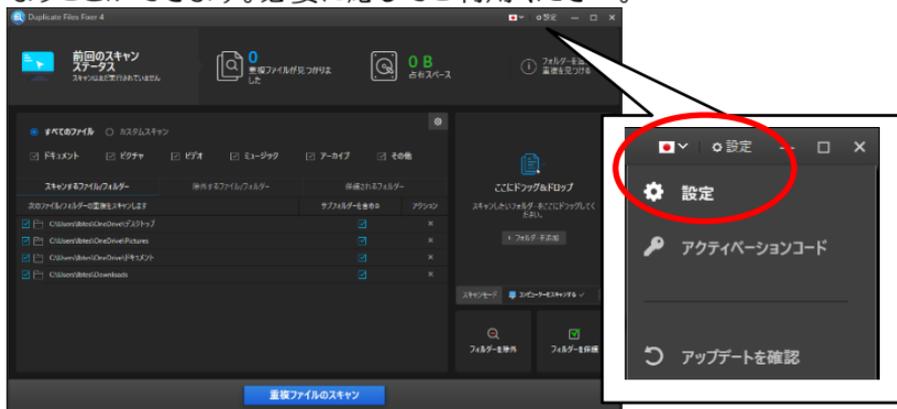
警告: このコンピュータプログラムは、著作権法および国際条約によって保護されています。このプログラムまたはその一部の無断転載または配布は、厳しい民事訴訟につながる可能性があります。刑事罰、および法律の下で可能な限り最大限に起訴されます。

[エンドユーザーの使用許諾契約](#) | [個人情報保護方針](#)

Copyright © 2023 Systweak Software. All rights reserved.

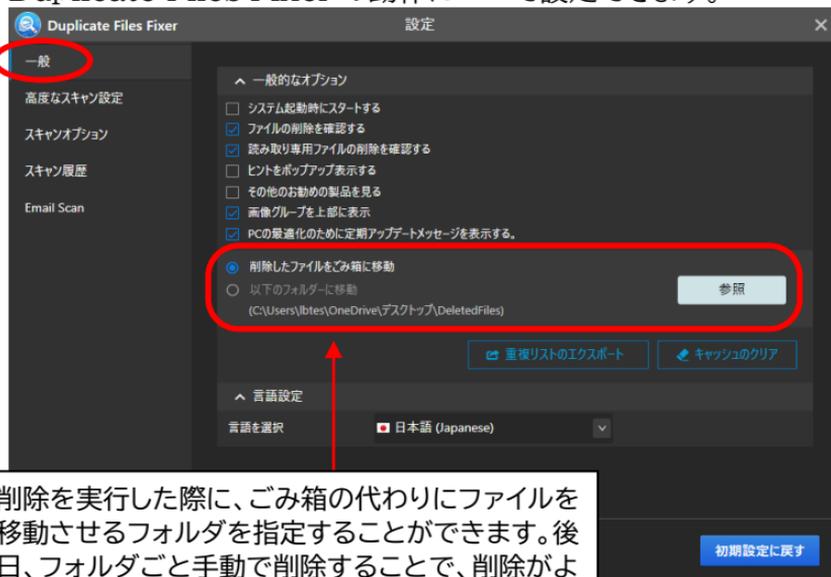
6-2 設定

メニューから「設定」をクリックすると、機能についての詳細な設定をおこなうことができます。必要に応じてご利用ください。



(1) 一般

Duplicate Files Fixer の動作について設定できます。

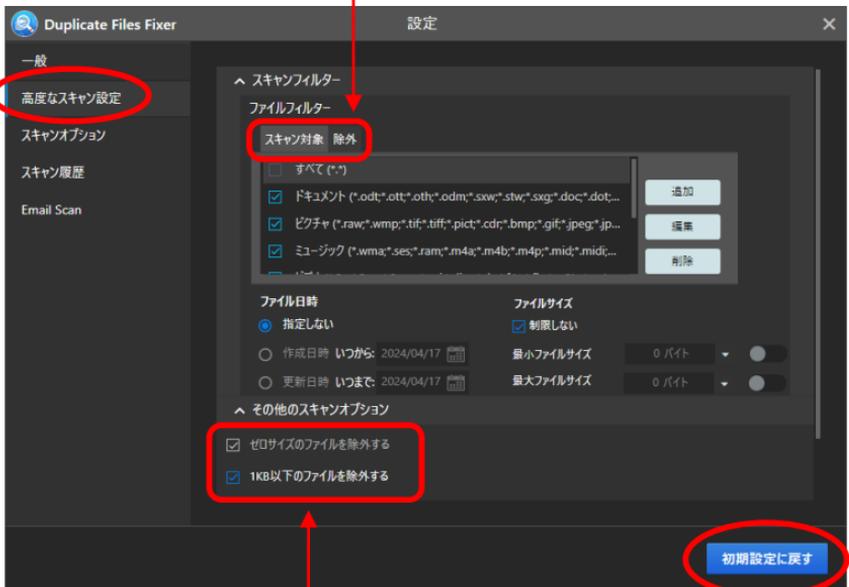


削除を実行した際に、ごみ箱の代わりにファイルを移動させるフォルダを指定することができます。後日、フォルダごと手動で削除することで、削除がより安全になります。

(2) 高度なスキャン設定

スキャンを行う際のフィルターを設定できます。(ファイルの拡張子、日付、サイズで指定)

スキャン対象に追加したい場合は、「スキャン対象」タブを、スキャン対象から除外したい場合は「除外」タブを選択してください。

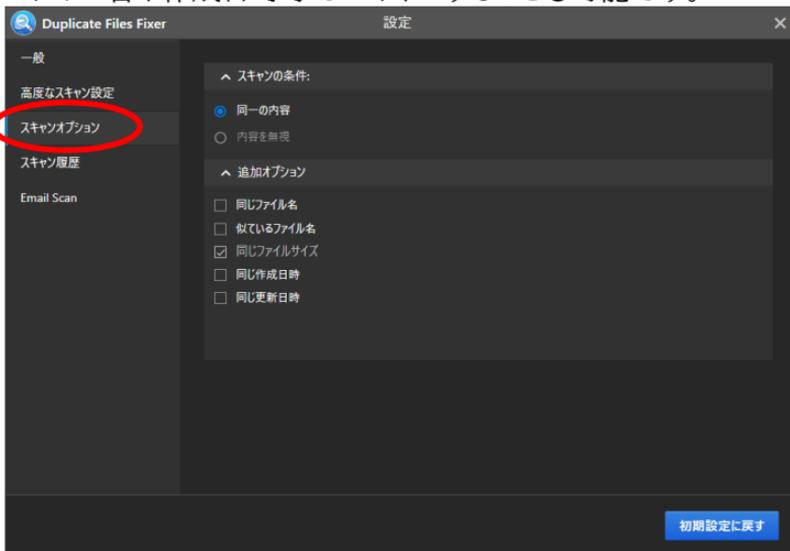


初期設定では、1KB 以下のファイルはスキャン対象から除外されています。変更する場合は、こちらのチェックを外してください。

設定をリセットしたい場合はクリックしてください。

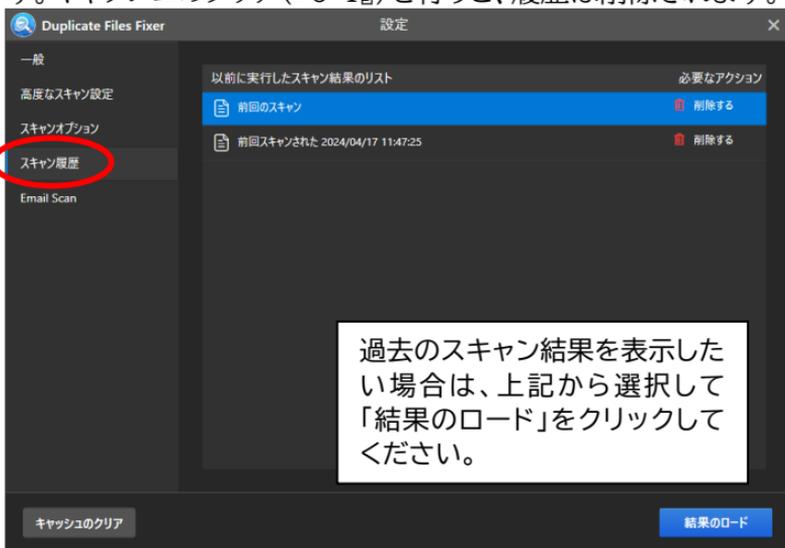
(3) スキャンオプション

ファイル名や作成日時等でスキャンすることも可能です。



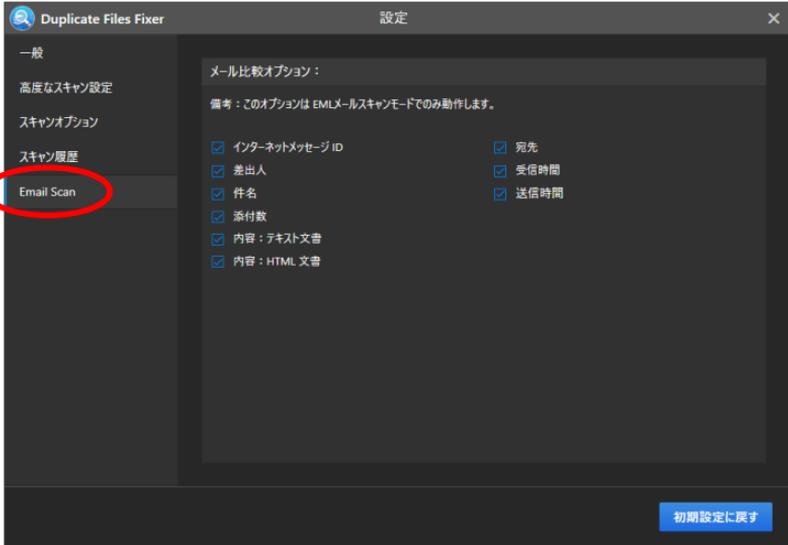
(4) スキャン履歴

スキャンすると履歴が残り、必要な時に結果を読み込むことができます。キャッシュのクリア(『6-1』)を行うと、履歴は削除されます。



(5) Email Scan

この設定は、EML スキャンモード (『5-5』) を選択したときのみ動作します。



第7章 その他

7-1 オートマーク、セクションアシスタント

オートマークは、スキャン結果が表示された後、一定のルールに従って、削除するファイルに自動的にマークする機能です。

「オートマーク」ボタンで自動的にマークされ、「すべてのマークを解除」ボタンで全マークが解除されます。

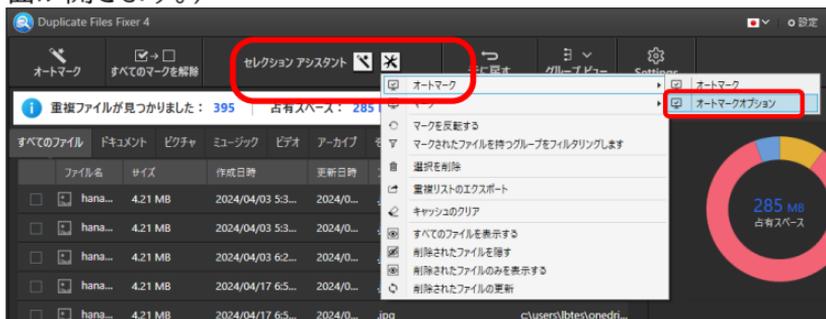


オートマークは、「セクション アシスタント」の設定に従ってマークされます。



セクション アシスタントの設定については下記の通りです。

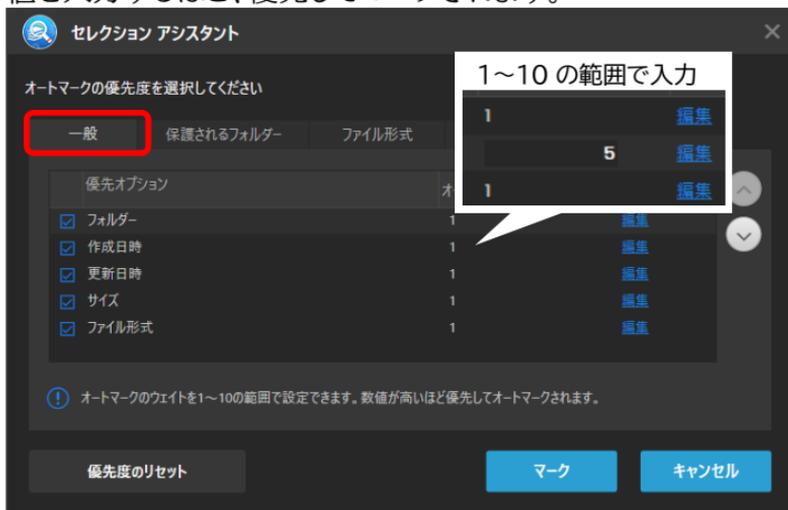
- (1)  をクリックします。
(または  から「オートマーク」-「オートマークオプション」でも同じ画面が開きます。)



- (2) セレクションアシスタントが開きます。

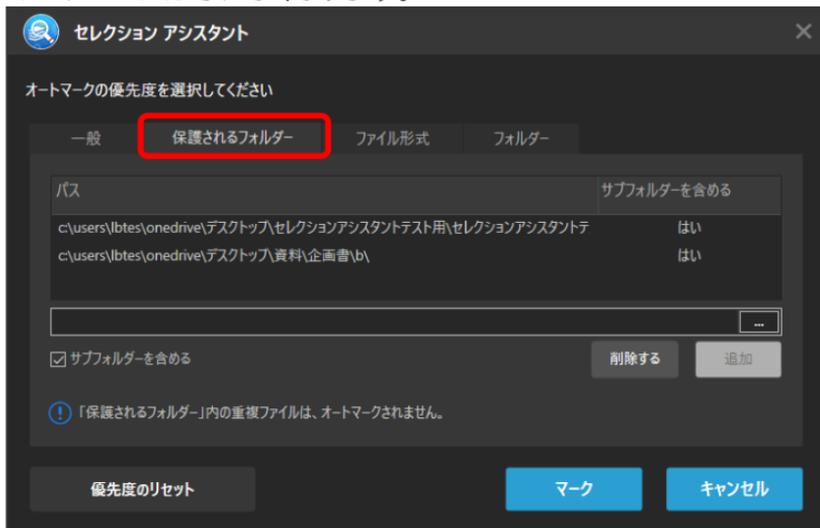
【一般】

作成日時や更新日時、特定のフォルダーなど、優先してマークしたい項目があれば、「編集」をクリックし数値を入力してください。高い数値を入力するほど、優先してマークされます。



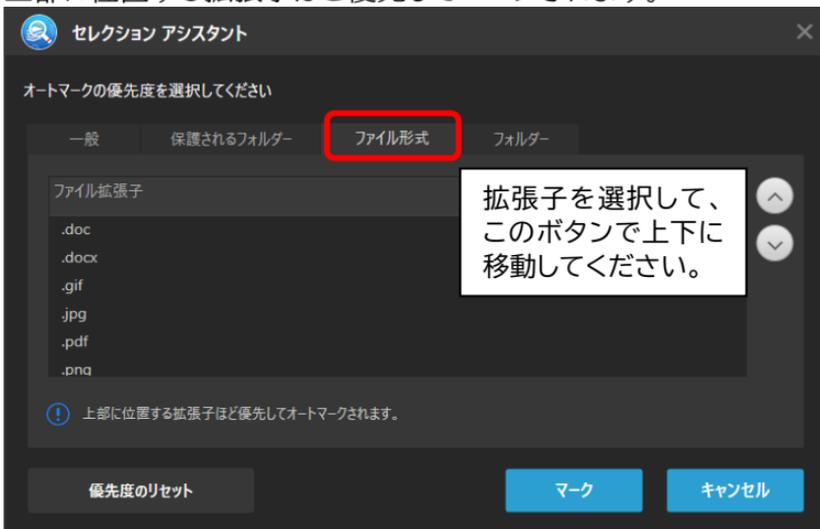
【保護されるフォルダー】

ここにフォルダーを追加すると、スキャン結果には表示されますが、オートマークはされなくなります。



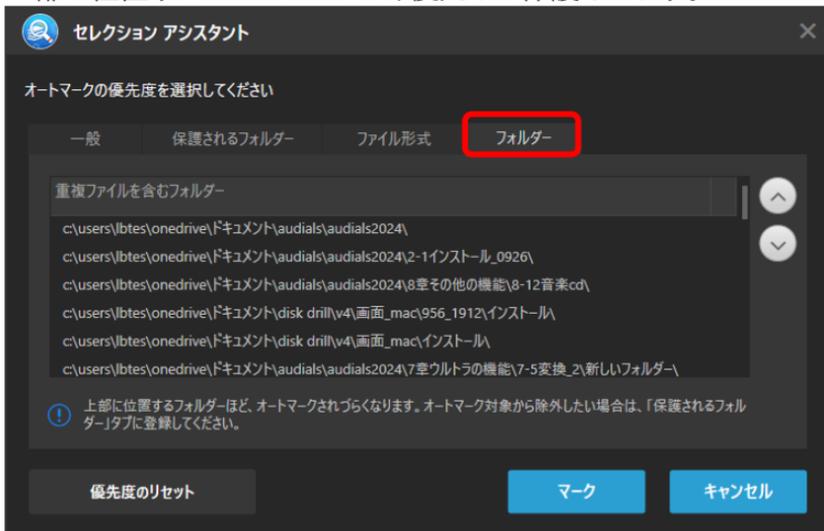
【ファイル形式】

上部に位置する拡張子ほど優先してマークされます。



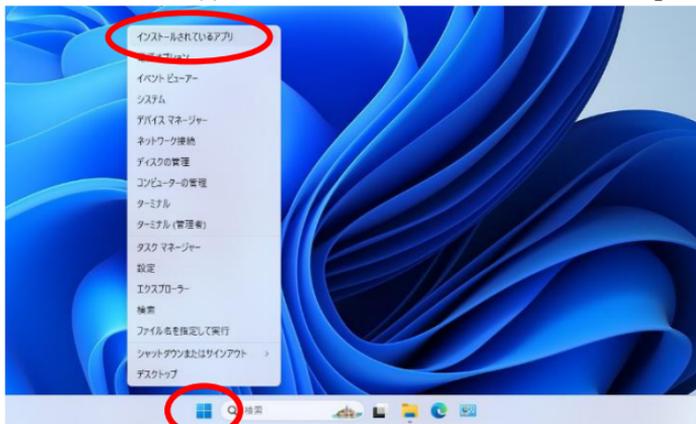
【フォルダー】

上部に位置するフォルダーほど、優先して保護されます。

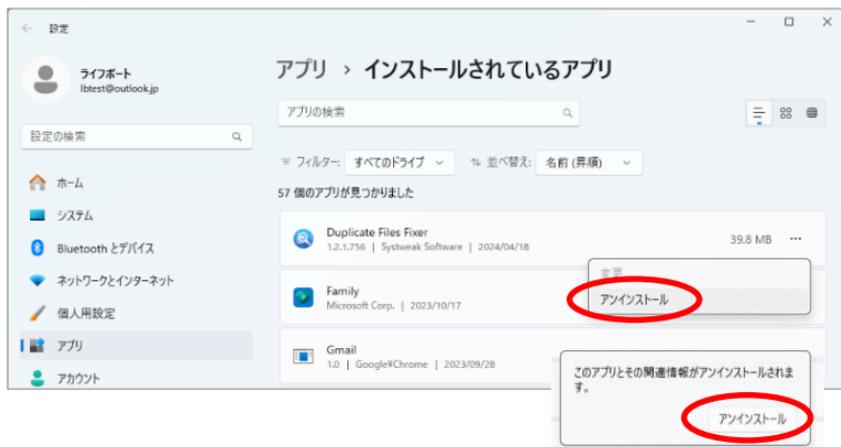


7-2 アンインストール

- (1) スタートボタンを右クリック「インストールされているアプリ」をクリックします。

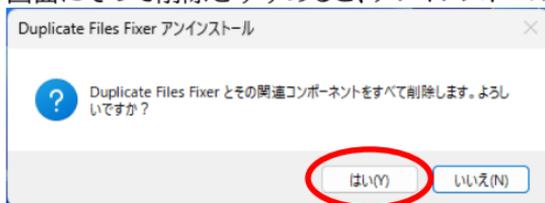


- (2) 『Duplicate Files Fixer』を選択して「アンインストール」をクリックしてください。

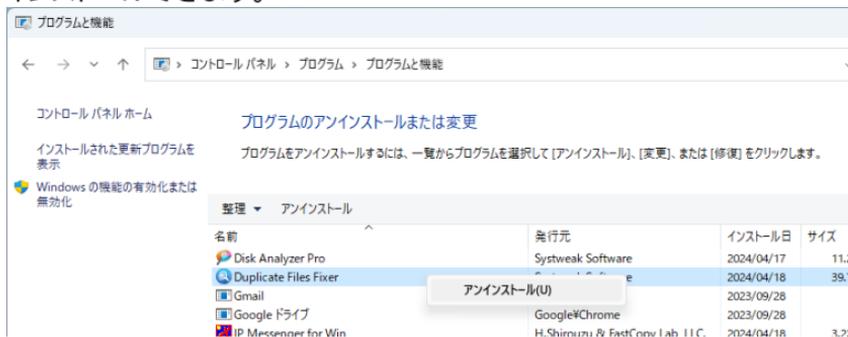


- (3) ユーザーアカウント制御画面が表示されましたら「はい」をクリックしてください。

- (4) 画面にそって削除をすすめると、アンインストールが完了します。



- ※ 「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」画面からでもアンインストールできます。



使用許諾契約書

当製品をご使用前に、下記のライセンス契約書を必ずお読みください。本使用許諾契約書(以下「本契約」といいます)は、下記に示されたライフポート ソフトウェア製品(以下「ソフトウェア製品」といいます)に関してお客様(以下「甲」といいます)と株式会社ライフポート(以下「乙」といいます)との間に締結される契約書です。ソフトウェア製品を開封、インストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約の条項に同意し、契約が成立したものとします。本契約の条項に同意されない場合、株式会社ライフポートは、お客様にソフトウェア製品のインストール、使用または複製のいずれも許諾できませんので、予めご了承ください。

第1条 定義

1. ソフトウェア製品
本契約に基づき、乙が甲に提供するプログラムおよび関連資料を包括していい、改良版のソフトウェア製品が提供された場合には、当該改良版のソフトウェア製品をいう。
2. プログラム
機械読取可能な形式で提供されるデータ処理プログラムをいう。
3. 関連資料
プログラム以外の資料で、乙がプログラムの使用に関連して提供する、乙指定の資料をいう。

第2条 契約の目的

乙は甲に対しソフトウェア製品を非独占的に使用する譲渡不能な権利を許諾する。

第3条 契約期間

本契約は、本契約成立時から、甲または乙が本契約に従い解約するまで存続する。

第4条 使用权

1. 甲は、プログラムを1ライセンスに付き1台のコンピュータで使用することができる。また、印刷物の形で提供されたソフトウェア製品を本契約の目的に従って使用することができる。
2. 甲は、本契約に基づく使用权につき再使用权を設定し、またはソフトウェア製品もしくはその複製物を第三者に譲渡、転貸もしくは占有の移転をしてはならない。ただし、甲の管理の下で甲のためにソフトウェア製品を第三者に使用させる場合はこの限りでなく、甲の使用とみなすものとする。
3. 甲がマルチライセンスパックを購入した場合、本契約以外の書面(パッケージ等)において指定される許諾数だけのコンピュータにインストールできる。

第5条 複製権

甲は、ソフトウェア製品の一部または全部をバックアップコピー作成のためにのみ、複製及び複写することができる。甲は上記の目的以外のために、ソフトウェア製品の一部または全部を、メディアを問わず、転写、複製または複写してはならない。

第6条 危険負担

納入前に生じたソフトウェア製品および記録媒体の喪失または損傷は、甲の責に帰すべきものを除き乙の負担とし、納入以後に生じたこれらの損害は乙の責に帰すべきものを除き甲の負担とする。

第7条 保証

1. ソフトウェア製品の媒体及び関連資料に、物理的欠陥がある場合、甲がソフトウェア製品を購入してから90日間に限り、無償で乙より交換を受けることができる。
2. 乙は、ソフトウェア製品が甲の特定の使用目的に適合することを保証するものではない。また、前項において明示する場合を除き、本ソフトウェア及びサポートサービスに関して一切の保証を行わないものとする。
3. 前各項の定めは、本契約に基づく法律上の瑕疵担保責任を含む、乙の保証責任のすべてを指定したものとする。

第8条 乙の責任および責任の制限

1. プログラムの不稼働を含む稼働不良のすべての場合において、乙の責任は誤りの訂正に合理的努力を尽すことに限られるものとする。
2. 法律上の請求の原因の種類を問わず、乙は、法律上許容される最大限において、本ソフトウェア製品の使用もしくは使用不能、サポートサービスの提供もしくは提供不能またはその他本契約書に関して生じる特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害、

またはその他の一切の損害（逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、人身傷害、プライバシーの喪失、誠実義務または合理的な注意義務を含めた義務の不履行、過失、またはその他の金銭的損失を含むがこれらに限定されない）に関しては、乙の過誤、不法行為（過失を含む）、無過失責任、契約違反または保証違反の場合であっても、一切責任を負わないものとする。たとえ、乙がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様である。

3. 本ソフトウェア又はサポートサービスに起因して、甲、もしくはその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、乙は一切の責任を負わないものとする。本契約のもとで、理由の如何を問わず、乙が甲、又はその他の第三者に対して負担する責任の総額は、損害の原因となった本ソフトウェアに対して本契約のもとで甲が実際に乙へ支払った対価の100%を上限とする。

第9条 著作権等の侵害に関する損害賠償責任

1. ソフトウェア製品の使用が、第三者の著作権または工業所有権等の知的所有権を侵害したという理由で、甲が第三者より請求を受けた場合には、甲が次の各号所定のすべての要件を満たす場合には、乙の責任と費用負担で、当該請求を処理解決するものとし、甲に一切の損害を及ぼさないものとする。
 - (1) 甲が第三者から請求を受けた日から速やかに、乙に対し請求の事実および内容を通知すること。
 - (2) 甲が第三者との交渉または訴訟の遂行に関し、乙に実質的な参加の機会および決定の権限を与え、ならびに必要な援助をすること。
2. 乙は、甲が次の各号の一に該当する場合には、甲に対し前項所定の責任を負わない。
 - (1) 甲が乙提供以外のプログラムと組合わせて使用したことに起因するとき。

- (2) 甲が本契約に違反してソフトウェア製品を使用したことに起因するとき。

第10条 ソフトウェア製品の変更または改作

甲は、自己の使用のため、必要な場合を除き「乙の許可なく」ソフトウェア製品を変更、または改作してはならない。

第11条 解約および解除

1. 甲は、乙に30日前の書面による通知をして、任意に解約することができる。
2. 甲または乙は、相手方に次の各号に掲げる事由の一が生じたときには、なんらの催告なしに直ちに本契約を解除することができる。
 - (1) 支払いの停止または破産、和議開始、会社更正手続開始、会社整理開始もしくは特別清算開始の申立があったとき。
 - (2) 手形交換所の停止処分をうけたとき。
3. 甲または乙は、本契約に違反すること等相手方の債務不履行が相当期間を定めてした催告後も是正されないときは、本契約を解除することができる。
4. 前各項の適用によりソフトウェア製品の使用权が消滅した場合には、甲は返還または破棄の手続きを行うものとする。

第12条 ソフトウェア製品の返還または破棄

1. 甲は、使用权の消滅後2週間以内にソフトウェア製品およびすべての複製物（変更または改作されたものを含む）を、乙に返還しまたは破棄するものとする。
2. 甲は、前項による返還または破棄と同時に、前項所定の実事を証明する書類を乙に提出する。

第13条 合意管轄

本契約に関し訴訟の必要が生じた場合には、乙本店所在地を管轄する裁判所を専属管轄裁判所とする。

第14条 協議

本契約に関して疑義が生じた場合には、両当事者は信義誠実の原則に従い協議するものとする。